

現状値 第2次プラン 終了時	実績値 (R1年度) A	目標値 最終目標 (R5年度) B	対最終目標比 (達成率) A/B	該当する取組実績 ※資料1-2、1-3に該当する記述がないものについては、（ ）を付しています。	コメント
----------------------	-----------------	-------------------------	---------------------	---	------

基本目標1 【知】お互いを知り合う・分かり合う機会をつくろう

1 地域コミュニティづくり

(1) 気軽に声をかけ合う地域づくり

自ら進んであいさつをしている児童・生徒の割合	66.5%	×	70.0%	調査を要するため、不明	市 社協	・地域住民や利用者、観光客、登下校時の児童に積極的に挨拶や声かけを行った。 ・あいさつ運動を周知するためのクリアファイルを作成し配布した。	
近所の人から相手からあいさつをしてくれると感じている児童・生徒の割合	59.0%	×	70.0%	調査を要するため、不明	市 社協	・地域住民や利用者、観光客、登下校時の児童に積極的に挨拶や声かけを行った。 ・あいさつ運動を周知するためのクリアファイルを作成し配布した。	

2 福祉学習の推進

(1) 学校などにおける多様な福祉学習の推進

福祉学習を実施している学校数	14校	16校	20校	80.0%	市 社協	・高齢者や障害者との交流活動、疑似体験等を社協協力のもと、小中学校で実施した。 ・学校における福祉学習の支援を16校で行った。	
教職員向けの学習に参加している学校数	4校	10校	20校	50.0%	市 社協	・福祉学習の理解を深めるために、社協と連携し、教職員への説明会に各校参加した。 ・市内の小中学校を対象に「福祉教育担当者説明会」を開催し、10校が参加した。	

(2) 地域における福祉学習の推進

認知症サポーター養成講座の受講者数	6,817人	8,219人	10,000人	82.2%	市 社協	・小学生には福祉学習の一環として、認知症サポーター養成講座を6校に実施できた。 ・市民や小学生を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。	
生活課題に関する出前講座の実施回数	10回/年	7回/年	20回/年	35.0%	市 社協	・年度当初にメニューの見直しを行い、学校、団体等にメニューを配布、PRした。 ・該当する取組なし。	

3 情報の発信と共有

(1) 多様な媒体によるわかりやすい情報の発信と共有

はんのうふくしの森プランを知っている人の割合	40.4%	×	60%	調査を要するため、不明	市 社協	・社協と協働で、ふくしの森プランに関する情報を発信する「はんのうふくしの森プランポータルサイト」を開設した。 ・ふくしの森プランを周知するための動画作成やSNSを使用した情報発信のための準備を進めた。	
〔新規〕 「ふくしの森マップ」の作成	未発行	WEB版のみ 発行	発行	一部完了	市 社協	・社協と協働で、グーグルマップを活用した「ふくしの森マップ」を作成し、ポータルサイトに掲載した。 ・「はんのうふくしの森プランポータルサイト」を開設し、サイト内に「ふくしの森マップ」を掲載した。	

基本目標2 【交】暮らしやすい移動・交通の仕組みをつくろう

1 交流の場づくり

(1) 地域の居場所などの交流の場づくり

地域の居場所（サロン、子ども食堂、食事会など）の設置数	49か所	56か所	70か所	80.0%	市 社協	・地域の団体の活動の場として、有効に利用してもらえるよう貸館を行った。 ・名栗園と共催で、「ふれあい交流室なぐりえんカレー食堂」を定期開催した。 ・中山でのサロン立上げのための話し合いに「NPO法人あおーら」の参画を得た。 ・双柳地区において、「食」を通じた居場所づくりの立ち上げを支援した。	
認知症カフェの参加者数	1,428人/年	1,328人/年	2,000人/年	66.4%	市 社協	（・認知症サポーター養成講座などでパンフレットを配布するなど周知を図った。若年性認知症の方を対象とした集まりを開くなど、より参加しやすい環境づくりに努めた。） （・地域ケア会議等の場で、社会資源のひとつとして認知症カフェを紹介した。）	

(2) 意見を交わせる場づくり

ふくしの森地区別懇談会の参加者数	477人	797人 ※第2層協議体等の場の参加者数	1,000人	79.7%	市 社協	・地区別計画検討会を社協と連携して企画、運営した。 ・地域にて課題解決についての話し合いの場を設置。（飯能中央、富士見、精明、双柳、加治東、加治、美杉台、南高麗、吾野、東吾野、原市場、名栗）	
福祉関係事業者懇談会の開催回数	1回/年	2回/年	2回/年	100.0%	市 社協	・社会福祉法人の意見交換会や連絡会設立準備会の開催に協力した。 ・多職種連携のための「飯能・日高地区ワールドカフェ（2回開催）」の運営支援を行った。 ・地域における公益的な取組の推進の一環として、市内9社会福祉法人の理事長等を対象に情報交換会を1回開催後、「飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会（仮称）設立準備会」を2回開催した。	

	現状値 第2次プラン 終了時	実績値 実績値 (R1年度) A	目標値 最終目標 (R5年度) B	対最終目標比 (達成率) A/B	該当する取組実績 ※資料1-2、1-3に該当する記述がないものについては、（ ）を付しています。	コメント
2 地域の移動・交通の充実						
(1) 身近な外出支援の仕組みづくり						
助け合いの移送サービス実施団体数	4団体	4団体	6団体	66.7%	市 ・各圏域において生活援助サービスを含めた移送について協議が行われた。また、実施団体等を対象にサービス構築に資する研修会を実施した。 社協 ・第1層協議体にて『住民主体による「移動・移送サービス」に関する研修会（市主催）』開催についての支援を行った。	
基本目標3 【支】 支え合いの仕組みをつくろう						
1 地域で支え合う人の育成						
(1) ふくしの森サポーターの創設						
〔新規〕 ふくしの森サポーター講座の開催回数	0回	0回	20回	0.0%	市 ・ポータルサイトでふくしの森サポーターについて情報発信・共有できるような仕組みを構築した。 社協 ・「はんのうふくしの森プラン推進市民会議」を8回開催し、ふくしの森サポーターの位置付け、登録制度、養成方法、周知方法について検討を進めた。	
〔新規〕 ふくしの森サポーターの登録者数	0人	0人	300人	0.0%	市 ・ポータルサイトでふくしの森サポーターについて情報発信・共有できるような仕組みを構築した。 社協 ・「はんのうふくしの森プラン推進市民会議」を8回開催し、ふくしの森サポーターの位置付け、登録制度、養成方法、周知方法について検討を進めた。	
(2) ボランティアの育成						
ボランティアセンターに登録しているボランティア数（個人活動者）	50人	63人	75人	84.0%	市 ・職員がボランティアセンター運営委員会委員として参加し、運営を支援した。	
同（団体に所属する活動者）	1,106人	1,077人	1,500人	71.8%	社協 ・ボランティア初めて講座、フードバンク講座、手話講座、点訳ボランティア講座、ボランティア交流会等のイベントや講座を実施した。	
同（活動団体）	57団体	45団体	65団体	69.2%		
2 支え合いの地域づくり						
(1) 地域福祉推進組織の全圏域での設立						
地域福祉推進組織の設立数	7組織	7組織	13組織	53.8%	市 ・貸館や話し合いの場への参加など、設立に向け必要な支援を行った。 社協 ・地域福祉推進組織の設立がない地域において、その必要性について情報提供を行った。	
(2) 地域福祉推進組織の活動の充実						
地域福祉推進組織交流会の開催回数	1回/年	1回/年	2回/年	50.0%	市 ・社協と連携し、地域福祉推進組織交流会の開催を支援した。 社協 ・地域福祉推進組織交流会（1回/年）を開催し、50名の参加を得た。	
(4) 民生委員児童委員協議会との連携						
民生委員・児童委員活動を知っている人の割合	24.5%	×	40.0%	調査を要するため、不明	市 ・地区会長会等で各課や関係機関との連絡調整を行ったほか、民児協の活動を支援した。 社協 ・該当する取組なし。	
(5) 多様な活動の連携						
福祉関係事業者懇談会の開催回数	1回/年	2回/年	2回/年	100.0%	市 （・社会福祉法人の意見交換会や連絡会設立準備会の開催に協力した。） 社協 ・多職種連携のための「飯能・日高地区ワールドカフェ（2回開催）」の運営支援を行った。 ・地域における公益的な取組の推進の一環として、市内9社会福祉法人の理事長等を対象に情報交換会を1回開催後、「飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会（仮称）設立準備会」を2回開催した。	
地域における公益的な取組を行っている社会福祉法人数	4法人	8法人	8法人	100.0%	市 （・社会福祉法人の意見交換会や連絡会設立準備会の開催に協力した。） 社協 ・社会福祉法人の理事長等を対象に意見交換会を開催。	

現状値 第2次プラン 終了時	実績値 (R1年度) A	目標値 最終目標 (R5年度) B	対最終目標比 (達成率) A/B	該当する取組実績 ※資料1-2、1-3に該当する記述がないものについては、（ ）を付しています。	コメント
----------------------	-----------------	-------------------------	---------------------	---	------

基本目標4 【安】安心して暮らせる仕組みをつくろう

1 相談支援体制の強化

(1) コミュニティソーシャルワーカーの充実

コミュニティソーシャルワーカーの配置人数	6人	9人	13人	69.2%	市 社協	・補助金によりコミュニティソーシャルワーカーの人件費を補助した。 ・コミュニティソーシャルワーカーを1名増員した。 ・飯能市に対し、「コミュニティソーシャルワーカー配置計画」を作成・提案した。	
ふくしの森ステーションの設置数	7か所	7か所	13か所	53.8%	市 社協	・補助金によりコミュニティソーシャルワーカーの人件費を補助した。 ・飯能市に対し、「コミュニティソーシャルワーカー配置計画」を作成・提案した。	
コミュニティソーシャルワーカーを知っている人の割合	37.9%	×	60.0%	調査を要するため、不明	市 社協	・該当する取組なし。 ・コミュニティソーシャルワーカーを周知するためのクリアファイルを作成し配布した。	

(2) ネットワークによる相談支援体制の強化

〔新規〕 相談支援者ネットワーク会議の開催回数	0回/年	0回/年	2回/年	0.0%	市 社協	・社協と様々な専門分野の相談機関との情報共有について企画、検討した。 ・各関係機関との共催により「専門職連携会議（地域ケア会議）」を開催した。	
----------------------------	------	------	------	------	---------	--	--

2 権利擁護の推進

(2) 成年後見制度に関する取組の充実

市民後見人養成講座（実践編）の修了者数	67人	76人	100人	76.0%	市 社協	・市民後見人養成講座（実践編）を開催し9名の方が養成された。 ・「市民後見人養成講座（実践編）」を開催し9名が修了した。	
〔新規〕 成年後見制度を知っている人の割合	0.0%	×	20.0%	調査を要するため、不明	市 社協	・市民後見推進審議会において今後の方針、スケジュールを協議した。また、成年後見制度利用促進審議会への移行についても合意を得た。 ・「市民後見人養成講座（実践編）」を開催し9名が修了した。	

3 防災・防犯の地域づくり

(1) 安心して暮らせる地域づくり

福祉避難所に関する協定の締結数	26件	29件	30件	96.7%	市 社協	・該当する取組なし。 ・該当する取組なし。	
-----------------	-----	-----	-----	-------	---------	--------------------------	--